

1. 特に効果的であり改善に資した事例について

B. 円滑な学位授与の促進

①複数教員による多面的な指導体制の整備

《理工農系》

●岐阜大学連合獣医学研究科獣医学専攻

「グローバル化に向けた実践獣医学教育の推進」の事例

(具体的に何を実施したのか)

本研究科は、主指導教員1名、第一副指導教員1名、第二副指導教員1名の3名により研究指導を行っている。主指導教員と第一指導教員は、所属する指導研究分野の教員であるが、第二副指導教員は、連合大学院を構成する他大学の教員にお願いしている。これまで、第二副指導教員による指導の機会は少なかったことから、本プログラムでは、大学院生が第二副指導教員の大学を訪問し、直接に研究指導を受けるシステム（第二副指導教員による研究指導）を構築した。

(実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと)

構成大学が遠隔地に位置することから、第二副指導教員による研究指導には1泊2日あるいは2泊3日の旅費の支援が必要となる。本プログラムでは、研究科事務局にて、学生の移動や宿泊を把握すると共に、第二副指導教員の大学にて十分な研究指導ができるように配慮した。

(どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか)

これまで、大学院生においては、所属する大学のみにて研究がなされてきたが、他大学の第二副指導教員の大学を訪問することにより、より広い目で研究を見直す機会を得た。また、2年次に第二副指導教員を訪問することから、その後の研究支援が円滑になり、複数教員による指導体制が十分に機能した。

1. 特に効果的であり改善に資した事例について

E. 学習・研究環境の改善

②国内外の学会発表、実習等に対する経済的支援の充実

《理工農系》

●岐阜大学連合獣医学研究科獣医学専攻

「グローバル化に向けた実践獣医学教育の推進」の事例

(具体的に何を実施したのか)

大学院生の国際学会への参加と発表を推進し、旅費等に関して支援した。また、短期間(平均3週間)の海外研修を奨励し、海外の短期研修においても旅費及び宿泊等について支援し、海外で活躍しやすい環境を整備した。

(実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと)

大学院生の国際学会発表に関する支援では、国際学会発表への参加登録料など、旅費及び宿泊費の経費以外に支出項目があり、学生への旅費等の支給にあたり不利益が被らないように配慮した。

(どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか)

国際学会参加や海外研修に関する支援プログラムを開始した当時は、応募者数が少なかったが、2年、3年と事業を進めるにつれて、応募者が激増し、大学院生が海外に行く機会が増加した。また、参加学生の中には、自信を持って英語で受け答えができる学生が最近目立ってきており、国際化に大きく貢献した。

1. 特に効果的であり改善に資した事例について

F. その他

②国際シンポジウム等の開催

《理工農系》

●岐阜大学連合獣医学研究科獣医学専攻

「グローバル化に向けた実践獣医学教育の推進」の事例

(具体的に何を実施したのか)

岐阜大学連合獣医学研究科とソウル大学獣医学部の間で、2回にわたりジョイント・ワークショップをソウルと東京で相互に開催し、研究の相互理解と共に人的交流に貢献した。

(実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと)

ソウルで開催した第一回目では、これまでに開催実績がないことから大学院生の参加希望者が少なく、開催に当たり出席者の確保に苦勞した。また、出来る限り旅費及び宿泊費の支援に配慮した。東京で開催した2回目は、参加者も順調に伸び、交流も円滑に進んだ。特に、開催に至るまでの準備に多くの労力を割くことから、相手大学との交渉や対応に苦慮した。

(どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか)

大学院生の積極性が目立って顕著となり、英語による受け答えもうまくなった。また、積極的に海外研修等に出かける学生も多くなり、国際性を修得するのに役立った。